

事務官ならではの角度で、 中国地方のインフラに貢献



本局 総務部 人事課

たちはた ななみ

立畑 菜々美 事務官

令和4年入省・一般職（大卒程度）・行政



ある日のスケジュール

9:15	出勤
9:20	メールチェックと今日の予定確認
10:00	事務所給与担当者からの問合せに回答
12:00	仲良しの事務官と食堂でランチ
13:00	システムで諸手当の認定作業
15:00	係内スケジュール打合せ
17:00	本省へメール送付
18:00	退庁
	買い物がてらお散歩

①中国地方整備局を志望した理由

出身地の広島を含め、中国地方の街づくりを少しでも良くするために働きたいと考えていました。道路・河川・港湾に特化している整備局では、国の組織として中国地方を支えていることが明確に実感できると思ったからです。

②現在の仕事とやりがい・魅力について

入省1年目は、厚生課で健康保険証の管理や育児休業手当金などの業務を担当しました。インフラ維持のために働く職員が、仕事と生活を両立するための制度を確実に利用できるような支えるものであり、やりがいを感じていました。

入省2年目からの人事課給与係では、給料の支給や、申請のなされた通勤手当等の手当の支給判断をしています。また、住民税の徴収手続のため市区町村とやり取りを行うこともあります。システム処理など勉強の日々ですが、上司や同世代の係員に気軽に相談できる環境なので、懸命に取り組んでいます。

③学生へメッセージ

中国地方整備局って何？と感じる皆さんが思う以上に、整備局は生活に身近な組織だと思います。少しでも興味を持っていただけると嬉しいです！



▲ 上司・先輩と相談しながら、楽しく仕事を進めています